

## 21 社会医療法人 さいたま市民医療センター

### 病院の概要

- **医師数 (研修医除く)** 65 名 (うち指導医数 25 名)
- **病床数** 340
- **研修医数** 1 年目 8 名 2 年目 6 名
- **昨年度マッチング受験者数** 88 名
- **研修医の主な出身大学** 埼玉医科大学、東京医科大学、富山大学、東北医科薬科大学、信州大学、秋田大学、琉球大学、高知大学、東京慈恵会医科大学、福島県立医科大学、順天堂大学
- **診療科** 内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、アレルギー科、内科 (化学療法)、外科 (化学療法)、麻酔科、救急科
- **1 日平均外来患者数** 286.4 名
- **1 日平均入院患者数** 243.8 名
- **主な認定施設** 地域医療支援型病院、日本内科学会認定制度教育関連病院、がん診療指定病院、外科医専門医制度修練施設、災害拠点病院、日本脳卒中学会研修教育病院



### 研修プログラムの特色

深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリ・ケア能力を修得した医師養成を目指しています。年間入院患者数 6,000 名以上、2 次救急外来患者数は約 5,000 名と幅広い豊富な患者数に支えられ多様な疾患の経験ができます。さらに総合的な視野を有する各専門領域のサブスペシャリティの指導医を備えていることも当院の特徴です。特に当院では大学病院では経験できない、都会型の地域医療に密着した内科、外科、小児科、整形外科、脳外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科疾患を経験できます。放射線科、病理診断科における診断学研修レベルは高度で、これらの特色をもとに、将来あらゆる領域のキャリア形成にも対応可能な多能性医師養成プログラムを提供します。内科系のみならず外科系領域においても総合医マインドを備えた臨床研修 (内科系、外科系ジェネラリスト) プログラムでプロフェッショナル医師を養成します。

### プログラム例 さいたま市民医療センター初期臨床研修プログラム (募集定員 6 名)

	1~4 週	5~8 週	9~12 週	13~16 週	17~20 週	21~24 週	25~28 週	29~32 週	33~36 週	37~40 週	41~44 週	45~48 週	49~52 週
1 年目	オリエン	救急				内科				外科		外科系診療系	
2 年目	小児科		産婦人科	精神科	地域医療	選択必修			選択科目				

内科 24 週、救急 12 週、外科 8 週、外科系診療科 4 週、小児科 12 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週を研修する。外科系診療科 4 週については、外科、麻酔科、整形外科、脳卒中・脳神経センター、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科のうち 1 科を選択する。選択科目については 4 週を 1 クールとするローテーション方式とする。一般外来研修に関しては内科・外科・小児科研修中に総合診療外来を週 1 回 1 日で並行研修 (4 週以上) を行う。地域医療については原則として 2 年次に研修を行う。

### 研修医の処遇

- 給 与** 1 年次: 40.7 万円/月 (当直手当含) 賞与 90 万円/年 (実績)、2 年次: 46.3 万円/月 (当直手当含) 賞与 156 万円/年 (実績)
- 諸 手 当** 当直手当、時間外手当
- 保 険** 埼玉県医師会健康保険組合 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険 厚生年金基金等企業年金なし 医師賠償責任保険 (病院において加入)
- 勤務時間** 8 時 30 分 ~ 1 7 時 30 分
- 当 直** あり (3 ~ 4 回/月)
- 休 暇** 日曜・祝日・有給休暇・夏季・年末年始休暇
- 宿 舎** あり
- そ の 他**

### 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・自治医科大学附属さいたま医療センター
- ・埼玉精神神経センター
- ・さいたま市立病院
- ・南魚沼市市民病院
- ・さいたま北部医療センター
- ・小笠原村診療所
- ・明医研ハーモニークリニック
- ・丸山記念総合病院
- ・岩崎内科クリニック

## 当院の魅力

### 専門診療と総合診療が融合した指導体制で ”軸” になれる医師を育成します

当院は医療需要が増加している「さいたま医療圏」の地域医療支援病院であり、地域医療の司令塔としての役割を担っています。年間 5,000 台の救急搬送、かかりつけ医からの紹介、そして大学病院との連携で超急性期から回復期までを担当し、患者さんを住み慣れた自宅や施設などに復帰させています。それを実現するために、我々は専門診療を縦糸、総合診療を横糸に見立て、縦糸と横糸で織りなす布が患者を包み込むようなイメージを描き診療しています。具体的には内科系診療科を細分せず、救急総合診療科が内科の主軸となり臓器別専門科がそれをサポートする体制で運営しています。毎朝、全医師が集結し新入院患者の治療方針を議論し各患者に適した主治医団を結成しています。複雑かつ複数の疾患を抱えた高齢者には理想的な臨床決定プロセスであり、毎日欠かさず行っていることが我々の誇りです。朝カンファレンスでは各臓器別専門医から update された情報を毎日得ることができます。臨床医として地域医療に貢献していきたい医師にとっては理想的な教育環境といえます。

### 研修責任者からメッセージ



坪井 謙  
プログラム責任者

当院の臨床研修プログラムは深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリ・ケアの臨床能力を発揮する医師育成を目指しています。「病氣」「けが」「子ども」に対して、まず「診る」ことができるジェネラリストとしての医師を育てる研修を提供しています。また、大学病院では経験できない地域に密着した医療を体験できます。そのため、どの専門医プログラムに行っても通用する土台を築くことができ、必ず皆さんの将来的キャリア構築に役立つと思います。豊富な臨床経験を持つ指導医に加え、各科の垣根も低いので、病院内のどこでも気軽に相談できる環境になっています。こんな病院で一躍に働いてみたい人、待っています。

### 先輩研修医からメッセージ



高橋 一朗  
研修医 2 年目

当院では、9 ヶ月の内科ローテ中に、週に 1 ~ 2 回救急対応を行います。また、救急患者の入院後の管理も、内科として引き続き経験でき、最初から最後まで同じ患者を診ることが出来ます。手技に関しても、長く救急対応に携わり、ほとんどの手技を経験できます。個人的には、病院スタッフとの人間関係が良好で、働きやすいことも、選ぶ決め手となりました。病院見学で、当院の雰囲気を感じてみてはいかがでしょうか？



市川 晴実  
研修医 2 年目

当院では熱心な指導医の下、研修医が主体的に診療にあたることができます。内科ではマルチプロブレムな患者に対して様々な視点から鑑別疾患や治療を考え、社会背景も考慮しながら退院後の方針まで責任を持って検討します。小児科でも多数の救急車対応をすることで、小児から高齢者まで common disease を経験することも当院の特徴です。外科では CV や結核・縫合などの手技や、最終クールには虫垂炎の執刀をすることができました。多職種とのコミュニケーションも活発です。希望科に関わらず、医師の基盤となる幅広い視野や前向きな姿勢を身に付けたい方におすすめです。

## 女性医師支援コーナー

- ・短時間勤務制度
- ・院内保育の設置
- ・当直免除
- ・女性特有の事情に合わせた勤務体系を構築することによりライフステージに合わせた働き方を選択できるようにしています。

### 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

※病院見学希望の方は、総務課 採用担当までメールにてご連絡ください。

- 連絡先** 社会医療法人 さいたま市民医療センター、総務課 並木
- 住 所** 〒331-0054 埼玉県さいたま市西区島根 299-1
- T E L** 048-626-0011 (代表)
- F A X** 048-799-5146
- E-mail** soumu@scmc.or.jp
- U R L** https://www.scmc.or.jp
- アクセス** 大宮駅西口よりバス約 20 分

